

災害ごみ及び災害用トイレ について

令和6年5月
環境部 廃棄物減量推進課

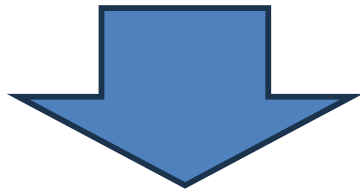
【目次】

- 1 災害ごみの対応について・・・・・・・・・・ 3頁
- 2 災害用トイレの確保について・・・・・・・・ 8頁

1 災害ごみの対応について

(1) 「災害ごみ」とは

地震や台風などの災害に伴って発生するごみ。
被災した家財や損壊した家屋の撤去等に伴う
多種多様のごみが短期間に大量に発生する。



生活環境の保全及び公衆衛生の悪化防止
並びに被災地の早期復旧・復興のためには、
災害ごみの適正かつ迅速な処理が重要



北部廃棄物最終処分場に設置した台風21号による
災害ごみの仮置場（平成29年11月）

1 災害ごみの対応について

大津市における災害ごみ発生量の推計

(参考) 1年間のごみ排出量 ⇒ 9万トン(令和5年度)

想定① 琵琶湖西岸断層による地震

⇒ 222.9万トン

※約25年分

想定② 花折断層帯による地震

⇒ 145.7万トン

※約16年分

平常時からの準備が必要

1 災害ごみの対応について

(2) 大津市災害廃棄物処理計画（平成30年3月策定）

平常時及び発災後の災害ごみ対策を定めた計画

災害ごみ発生量の推計

市内の組織体制及び関係自治体・民間事業者との連携

災害ごみ仮置場の選定
及び運営方針

分別・処理ルートを検討

など・・・

1 災害ごみの対応について

(3) 災害ごみに関する取組

①災害時のごみ処理に関する 市民向けのチラシを作成・配布



②仮置場候補地の調査を実施

③仮置場運営に必要な備品の備蓄

1 災害ごみの対応について

(4) 課題

- ① 平常時から備えることについての市民理解
- ② 仮置場候補地の選定
- ③ 関係自治体・民間事業者との連携

2 災害用トイレの確保について

(1) 災害用トイレの備蓄

①備蓄数

127基

貯留型：87基

下水道投入型：40基

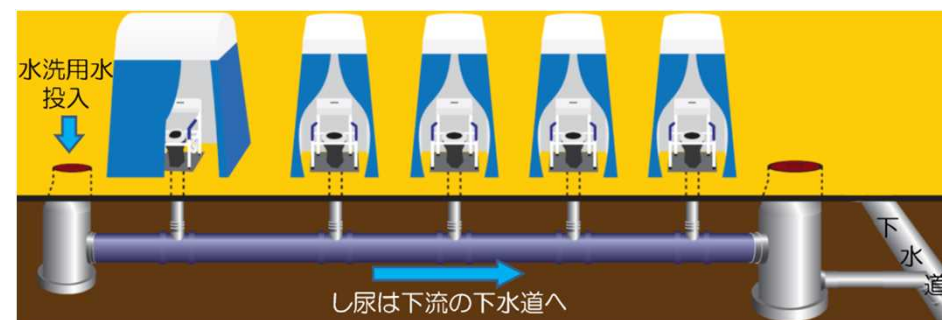


貯留型

②備蓄場所

小学校防災倉庫 ほか

下水道
投入型



2 災害用トイレの確保について

(2) 今後の備蓄予定

①備蓄数

令和6年度 : 5基／年

令和7年度～令和14年度 : 6基／年

②備蓄場所

中学校防災倉庫 ほか

2 災害用トイレの確保について

(3) 課題

①災害用トイレの設置

設置方法（貯留型、下水道投入型）

⇒ 総合防災訓練で体験

施設内トイレの利活用

⇒ 上下水道が復旧するまでの間、
携帯トイレを使用

携帯トイレの 使い方

<引用元:神奈川県HP>



②プライバシーの確保

利用者の区分け

⇒ 男性用、女性用、多目的用の明確化

2 災害用トイレの確保について

(4) 課題（続き）

③健康被害の抑制（安心して使えるトイレ）

清潔保持

⇒ 清掃、消毒

臭い対策

⇒ 消臭剤、携帯トイレの併用

トイレが不衛生だと、感染症蔓延の原因となったり、
トイレをがまんすることから、体調不良を引き起こす
可能性があります。